

整理番号	25002
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年11月17日
事業担当課	被爆継承課
担当者・内線	立石・66352

《基本情報》

事務事業名	保存整備活動費(城山国民学校カラスザンショウ保存処理業務の拡大)		<input type="checkbox"/> 新規
			<input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	B1 被爆の実相を継承します		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市民が	被爆の実相の継承を進めている。	
個別施策	B1-1 平和・原爆施設の整備及び被爆資料の保存・活用を図ります		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	平和・原爆関連施設、被爆資料・被爆遺構が	適切に整備・保存され、被爆の実相が効果的に伝わるよう公開されている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	<p>城山小学校敷地内にある被爆樹木「城山国民学校カラスザンショウ」は長崎市被爆建造物等の取扱基準で保存対象とされる枯死木で、毎年表皮の保護や白蟻防除の処置を行い、現地での保存公開を続けている。カラスザンショウは、隣り合う樹木に寄り掛かる姿が人と人が支え合う姿にも重なることから、平和のシンボルとして児童の平和学習に活用され、地域住民や同窓会からも親しまれ大切にされている被爆樹木である。</p> <p>近年その劣化が進み、樹木医から現状の保存方法では樹形の維持に限界があるとの指摘がされており、城山小学校や、被爆校舎の管理運営を担う城山小学校被爆校舎平和発信協議会からは、被爆校舎内で公開を継続してほしいとの意見をいただいている。</p>
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	カラスザンショウを現地から旧城山国民学校校舎内に移設し、引き続き平和学習に活用できるように展示する。
課題(どういことをする必要のあるのか)	<p>現地から被爆校舎内に移設するには、樹木医が足場を組んで作業にあたる必要がある。被爆校舎内の展示にあたっては、取り上げた樹木の害虫駆除を実施するとともに、見学者が理解しやすいよう現地での様子が想像できるような展示環境を室内に構築し、現地にも室内の展示を周知するよう説明板を設置し、被爆遺構全体を周遊できるような仕掛けをする必要がある。</p>
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>城山小学校敷地内の土手に展示している「城山国民学校カラスザンショウ」を取り外し、燻蒸及び保存処理を行う。処理が完了した樹体は、旧城山国民学校校舎に搬入し、現地周囲の風景を撮影した写真パネル、説明板とともに展示する。</p> <p>【事業期間】令和3年度 【総事業費】5,246千円 【事業費内訳】令和3年度 取り外し用足場設置・撤去費:2,786千円 風景写真パネル設置一式:1,353千円 説明板作成費:487千円 燻蒸代:400千円 白蟻防除費:146千円 木材劣化防止剤代:44千円 産廃処分費:30千円</p> <p>【設置場所】令和3年度:旧城山国民学校校舎(国指定史跡 長崎原爆遺跡) 【補助率】基金4/4</p>
--	--

業務量の増減	93時間の増						
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働						
	被爆資料を保存処理し、展示することにより、被爆の実相への理解を深める素材をより充実させる。						
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)						
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	5,247				5,247	
	総額	5,247				5,247	
	財源名称	クスノキ基金					
成果 (活動) 指標	指標(単位)	保存処理及び展示事業の進捗率					
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標値	100%					
	成果指標及び目標値の説明	本事業は枯死木となった被爆樹木を保存処理し、展示する事業であり、作業の進捗率を成果指標とした。					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>平和のシンボルとして平和学習に活用されている被爆樹木「城山国民学校カラスザンショウ」の劣化が進んでいるため、適切な保存処理を行い、旧城山国民学校校舎内に移設して、保存、展示するものである。</p> <p>被爆者がいない時代が目前に迫る中、被爆の実相の効果的な継承につながることから、事業の実施は適当である。</p>	